

安全データシート

1. 製品及び会社情報

| | |
|---------|--------------------------------------|
| 製品名 | : オクサイトデラックス |
| 会社及び住所 | : 東部ケミカル株式会社 東京都中央区日本橋小網町 9 番 3 号 |
| 電話 | : 03-3669-6471 |
| ファックス | : 03-3669-6479 |
| 緊急連絡先番号 | : 03-3669-6473 |

2. 危険有害性の情報

| | |
|--------|--|
| GHS 分類 | : 引火性液体, 区分 3 吸引性呼吸器有害性, 区分 1 水生環境－慢性有害性, 区分 2 |
|--------|--|

GHS ラベル要素



| | |
|---------|--|
| 注意喚起語 | : 危険 |
| 危険有害性情報 | : 物理的危険: 引火性液体および蒸気。 健康有害性: 飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ 環境有害性: 長期的影響により水生生物に毒性 |

| | |
|------|--|
| 注意書き | : 予防: 熱/火花/裸火/高温物から遠ざけること。禁煙。 容器を密閉しておくこと。 容器および受器を接地すること。 防爆型の電気機器/換気装置/照明機器/その他機器を使用すること。 火花を発生しない工具を使用すること。 静電気放電に対する予防措置を講ずること。 必要な時以外は環境への放出を避けること。 保護手袋および保護眼鏡/保護面を着用すること。 |
|------|--|

応急措置:
飲み込んだ場合: 直ちに医師に連絡すること。
無理に吐かせないこと。
皮膚(または髪)に付着した場合: 直ちに、汚染された衣類をすべて脱ぐこと/取り除くこと。皮膚を流水/シャワーで洗うこと。
火災の場合には、消火に耐アルコール泡消火剤又は二酸化炭素、散水を使用すること
漏出物を回収すること。

安全データシート

保管:
涼しい所/換気の良い場所で保管すること。
施錠して保管すること。

廃棄:
内容物/容器は、国際/国/県都道府県/市町村の規則に従って廃棄すること。

- その他の危険有害性情報** : 取り扱い中に引火性/爆発性の蒸気-空気混合物を生成することがある。
ポンプ稼動中に静電荷を発生することがある。静電放電は火災を起こすことがある。
皮膚に対して軽い刺激性がある。
繰り返しの曝露により、皮膚の乾燥またはひび割れを引き起こすことがある。
呼吸器系に軽度の刺激性。
蒸気が眠気およびめまいを引き起こすことがある。
- 病状の悪化** : 本化学物質の曝露により以下の臓器または臓器系の潜在的な医学的健康状態を、悪化する可能性がある。

3. 組成及び成分情報

化学物質 混合物の区分 : 混合物

危険有害成分(GHS)

| 化学品情報 | 化学情報検索サービス 機関(CAS) | 化審法番号 | 濃度[%] |
|------------------|-----------------------|--------|-----------------|
| White Spirit | 64742-82-1 | 9-1702 | >= 10 - <= 20 % |
| Alkanes, C10-C14 | 93924-07-3 | 2-10 | >= 80 - <= 90 % |

詳細情報:

| 化学名 | CAS | 含有量[%] |
|-----------------|---------------------|--------|
| ノナン | 111-84-2, 203-913-4 | 25-35% |
| ミネラルスピリット | | ~20% |
| キシレン | 1330-20-7 | ~0.3% |
| イソプロピルベンゼン | 98-82-8 | ~0.1% |
| トリメチルベンゼン | 25551-13-7 | ~3.1% |
| 1,2,4-トリメチルベンゼン | 95-63-6 | ~1.8% |

安全データシート

4. 応急処置

- 吸入した場合** : 空気の新鮮な場所に移すこと。急速に回復しない場合、追加処置のために最寄りの医療機関に搬送すること。
- 皮膚に触れた場合** : 汚染された衣服を脱ぐこと。暴露面を水で洗い流し、その後、可能なら石鹼で洗うこと。
- 眼に入った場合** : 眼を十分な量の水で洗うこと。
持続的な刺激が生じた場合、治療を受けること。
- 飲み込んだ場合** : 飲み込んだ場合、吐き出してはならない。追加処置のために最寄りの医療機関に搬送すること。自然に吐いた場合、頭を尻より低くしておき吸飲を防ぐこと。
- 内科医へ知らせること
急性及び遅れて出る最も重要な兆候及び症状** : 脱脂している皮膚炎の兆候および症状には、灼熱感 および/または乾燥しひび割れの外観が含まれる。
中枢神経系 (CNS) 抑制のその他の兆候および症状は、頭痛、悪心、および協調不全が挙げられる。
呼吸器の刺激の兆候および症状には、鼻および咽喉の一過性の灼熱感、咳および/または呼吸困難が含まれる。
物質が肺に入った場合の兆候および症状は、咳、窒息、ぜん鳴音、呼吸困難、胸部 うっ血、息切れ、および/または 発熱が挙げられる。
聴覚系への作用として一時的な聴覚障害及び耳鳴りが挙げられる。
- 応急医療注意点と特別処置** : 中枢神経系抑制を引き起こす。
長期または繰り返しの曝露により皮膚炎を引き起こすことがある。
化学間質性肺炎の可能性有り。気道を確保して胃洗浄、活性炭の投与を考慮すること。
医師または毒物管理センターに電話し、指示を求めてください。

5. 火災時の措置

関係者以外を火災区域から退去させる

- 特定の危険性** : 不完全燃焼が起こると、一酸化炭素が発生しうる。水面に浮かべて再点火できる。蒸気は空気よりも重く、地面に沿って広がり、遠隔発火の可能性もある。
- 消火剤** : 泡消火剤、散水または噴霧。小規模の火事の場合のみ、ドライ粉末消火剤、二酸化炭素、砂または土の使用可。消火用の水を水生環境に排水しないこと。
- 不適切な消火剤** : ジェット水を使用しないこと。
- 消防士のための保護具** : 全面保護衣および自給式呼吸器を着用すること。
- 追加情報** : 水を噴霧して隣接の容器を冷却し続けること。

安全データシート

6. 漏出時の措置

関連する国内及び国際法規を遵守すること。

- 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置** : 漏洩物質または放出物質との接触を避ける。すべての汚染衣類を直ちに除去する。保護具は 8 項を参照。漏洩物の廃棄処分は、13 項を参照。
- 環境に対する注意事項** : 人的危険がなければ漏れを遮断する。周囲の全ての発火源を取り除く。環境汚染を避けるために、適切に周辺を囲い込む。砂、土またはその他適切な障壁を用いて、排水路、排水溝または川への拡大または進入を防ぐ。蒸気の拡散または例えばフォグスプレーを用いて安全地域へ蒸気の流れの誘導を試みる。静電気放電に対する予防策をとる。全ての器具を接合およびアースして電氣的保護を確実にする。
- 封じ込め及び浄化の方法/機材** : 少量の液体がこぼれた場合(<1 ドラム)、製品を回収するか、安全に処分するために、機械的手段によって、標識付けした密封可能容器に移送すること。残留物を蒸発させるか、または適切な吸収物質で吸い取り、安全に処分する。汚染した土を除去し、安全に処分する。大量に液体がこぼれた場合(>1 ドラム)、回収するか、安全に処分するために、バキュームカー等の機械的手段で回収槽に移送すること。残留物を水で洗い流してはならない。汚染廃棄物として保持する。残留物を蒸発させるか、または適切な吸収物質で吸い取り、安全に処分する。汚染した土を除去し、安全に処分する。
- 追加情報** : 処理情報に関しては、13 章を参照。一般市民または環境への曝露が起るか、或いは起りそうな場合は、当局に通知する。蒸気は、空気を含む爆発性混合物を形成する恐れがある。

7. 取り扱い及び保管上の注意

- 一般的予防措置** : 蒸気の吸入や物質との接触を避けること。換気が十分になされている場所でのみ 使用すること。取り扱い後は十分に手洗いをすること。保護具の選択についての指針は、この安全データシート(SDS)の 8 章を参照すること。
この製品の安全な取り扱い、貯蔵および処分のための適切な制御装置の決定を支援する目的で、局所環境のリスクアセスメントへのインプットとしてこのデータシート中の情報を使用すること。
- 安全取り扱い注意事項** : 皮膚、目、衣服との接触を避けること。如何なる裸火も消す。禁煙。発火源を除去する。スパークを避ける。蒸気は空気よりも重く、地面に沿って広がり、遠隔発火の可能性がある。すべての装置を接続し接地(アース)し、電氣的連続性を確保する。ポンプ輸送中にライン速度を制限して静電気放電の発生を避けること(充填パイプが、直径の 2 倍に浸かるまで $\leq 1 \text{ m/sec}$ 、その後、 $\leq 7 \text{ m/sec}$)。注入時にしぶきを飛ばさないこと。注入作業、排液作業、取り扱い作業のために圧縮空気を使ってはならない。十分に換気された場所で注意し、容器を取り扱い、開けること。作業環境暴露基準(OEL)を超えないような方法で作業場を換気する。下水管に流さないこと。

安全データシート

- 安全な保管条件** : 日光、着火源および他の熱源から離れ、十分に換気された防油堤の中で貯蔵すること。大量貯蔵容器は堤防で囲むべきであるエアゾール、可燃物、酸化剤、腐食性薬品、ヒトにも環境にも有害でなく毒性でない他の可燃製品に近付けないこと。貯蔵温度: 常温
- 製品輸送** : すべての装置を接続し接地(アース)し、電氣的連続性を確保する。ポンプ輸送中にライン速度を制限して静電気放電の発生を避けること(充填パイプが、直径の2倍に浸かるまで ≤ 1 m/sec、その後、 ≤ 7 m/sec)。注入時にしぶきを飛ばさないこと。注入作業、排液作業、取り扱い作業のために圧縮空気を使ってはならない。ポンプ稼動中に静電荷を発生することがある。静電放電は火災を起こすことがある。容積式ポンプを使用する場合、これらには、非積分圧力軽減バルブを取り付けなければならない
- 推奨する材質** : 容器や容器の内張りには、軟鋼、ステンレス鋼を用いる。容器の内面塗装には、エポキシ塗料、ケイ酸亜鉛塗料を用いる。
- 不適切な材質** : 天然ゴム、ブチルまたはニトリルゴム類との長期の接触を避ける。
- 容器に関する注意** : 容器は、空であっても、爆発性気体を含有する可能性がある。容器の上或いは近くで、切断したり、穴をあけたり、こすったり、溶接したり、同様な作業をしない。
- その他注意事項** : 取り扱い並びに貯蔵施設に関し、地域の全規制に準拠していることを確認する。

8. 暴露防止措置及び保護措置

作業環境における成分別限界/許容濃度

本製品の作業上の曝露基準が無い場合、以下の事柄の採用を推奨する。

| 成分 | CAS 番号 | 指標(暴露形態) | 管理濃度/許容濃度 | 出典 |
|-------------------------------|------------|----------|----------------------------------|--|
| RCP Mineral spirits 150 - 200 | 未特定 | TWA | 350mg/m ³ | ヨーロッパ炭化水素系溶媒生産社(CEFIC-HSPA)の方法論に基くOEL。 |
| Trimethylbenzene, all isomers | 25551-13-7 | TWA | 25ppm | ACGIH |
| n-ノナン | 111-84-2 | OEL-M | 200ppm 1,050mg/m ³ | 日本産業衛生学会(許容濃度) |
| n-ノナン | 111-84-2 | TWA | 200ppm | ACGIH |
| | | TWA | 200ppm 1,050mg/m ³ | NIOSH REL |
| 1,2,4-トリメチルベゼン | 95-63-6 | OEL-M | 25ppm 120mg/m ³ | 日本産業衛生学会(許容濃度) |
| 1,2,4-トリメチルベゼン | 95-63-6 | TWA | 25ppm | ACGIH |
| 1,3,5-トリメチルベゼン | 108-67-8 | OEL-M | 25ppm 120mg/m ³ | 日本産業衛生学会(許容濃度) |

オクサイトデラックス

版番号 1.0
発効日 2018.10.01

安全データシート

| | | | | |
|--------------------------------------|-----------|-------|--------------------|----------------|
| 1,3,5-トリメチルベゼン | 108-67-8 | TWA | 25ppm | ACGIH |
| キシレン | 1330-20-7 | ACL | 50ppm | 安衛法(管理濃度) |
| キシレン | | OEL-M | 50ppm 217mg/m3 | 日本産業衛生学会(許容濃度) |
| 詳細情報: 第3群: ヒトに対しておそらく生殖毒性を示すと判断される物質 | | | | |
| キシレン | 1330-207 | TWA | 100ppm 435mg/m3 | OSHA Z-1 |
| | | TWA | 100ppm | ACGIH |
| | | STEL | 150ppm | ACGIH |
| | | STEL | 150ppm 655mg/m3 | OSHA PO |
| | | TWA | 100ppm 435mg/m3 | OSHA PO |
| クメン | 98-82-8 | TWA | 50ppm 245mg/m3 | OSHA Z-1 |
| | | TWA | 50ppm | ACGIH |

追加情報 : 適切な換気を行って、空中濃度を暴露指針/限界より低く抑えること。

生物学的限界値(BLV)-詳細は備考を参照のこと。

| 化学名 | CAS 番号 | 対象物質 | 生物学的試料 | 試料採取時期 | 許容濃度 | 出典 |
|------|-----------|-------------------------------|--------|----------|---------|----------|
| キシレン | 1330-20-7 | 総メチル馬尿酸 (o-,m-,p- 三異性体の総和) | 尿 | 週末の作業終了時 | 800mg/l | 日本産業衛生学会 |

適切な設備管理対策 : 中濃度を推奨ばく露限界値以下にするために密閉型系内換気装置(プロセスエンクロージャー)又は局所排気装置、その他設備対策を設置すること。
本物質を保管又は使用する施設には洗眼器及び安全シャワーを設置すること。

保護具

呼吸用保護具 : 技術管理により環境気中濃度が作業員の健康を保護するのに十分なレベルで維持されていない場合、特定の使用条件に適合し、且つ関連する法規を満たすのに適した呼吸用保護具を選定すること。呼吸用保護具提供者に問い合わせる。空気フィルタ付呼吸器が適している場合、適切に組み合わせたマスクとフィルタを選ぶ。有機ガスおよび有機蒸気[沸点: >65 °C (149F)]に好適でEN141 に対応するフィルタを選ぶ。空気フィルタ付呼吸器が適さない場合(例えば、空輸濃度が高い、酸素欠乏の危険性、限られたスペース)、適切な陽圧呼吸器を使用する。

安全データシート

| | | |
|--------------|---|---|
| 手の保護具 | : | より長期間の保護。ニトリルゴム手袋 偶発的な接触/飛沫防止:PVC またはネオプレンゴム手袋。個人的衛生を維持することは、手の効果的なケアに重要な要素です。手袋は清潔な手に着用してください。手袋を使用したあとは、手は、洗浄して完全に乾燥させる必要があります。芳香剤を加えていないモイスタライザーを使用することを推奨します。 |
| 眼の保護具 | : | 飛沫よけゴーグル(薬品用の一体型ゴーグル)を着用する。 |
| 保護衣 | : | 耐薬品性の手袋/手袋状包帯、長靴、エプロンを着用する。皮膚保護具は、通常では標準仕様作業着以上は指定しない。 |
| 熱ストレス | : | 適用できない。 |

9. 物理的及び化学的性質

| | | |
|--|---|---|
| 外観及び色 | : | 無色 液体 |
| 臭気 | : | パラフィン状 |
| 臭気閾値 | : | データ入手不可能。 |
| pH | : | 適用できない。 |
| 初留点及び沸点範囲 | : | 代表値 158 - 200 °C |
| 融点/凝固点 | : | 適用できない。 |
| 引火点 | : | 代表値 43 °C / 109 °C (アーベル) |
| 爆発限界 | : | 0.7 - 6.5 %(V) |
| 自然発火温度 | : | データ入手不可能。 |
| 燃焼性(個体、ガス) | : | データ入手不可能。 |
| 蒸気圧 | : | データ入手不可能。 |
| 比重(相対密度) | : | データ入手不可能。 |
| 密度 | : | 代表値 750kg/m ³ (at 15 °C / 59 °F) (ASTM D-4052) |
| 水に対する溶解性 | : | 不溶性 |
| 他の溶媒での溶解度 | : | データ入手不可能。 |
| n-octanol/water partition coefficient (log Pow) | : | データ入手不可能。 |
| 分解温度 | : | 注:通常の使用条件下で安定。 |
| 動粘性率 | : | データ入手不可能。 |
| 粘度 | : | データ入手不可能。 |
| 蒸気密度(空気=1) | : | データ入手不可能。 |
| 蒸発率(nBuAc=1) | : | データ入手不可能。 |

安全データシート

10. 安定性及び反応性

- 化学的安定性** : 通常の条件下で安定。
回避すべき条件 : 熱、スパーク、火気、およびその他の発火源を避ける。
混触危険物質 : 強酸化剤。
危険な分解生成物 : 熱分解は、かなり条件に左右される。一酸化炭素、二酸化炭素、その他の有機化合物を含有する空中浮揚の固体、液体および気体の複合混合物は本材料が燃焼、または熱分解または酸化分解反応をする際に、放出される。

11. 有害性情報

- 評価基準** : 情報は、製品試験および/または同種の製品および/または構成成分を基準としている。
可能性の高い暴露経路 : 曝露は、吸入、飲み込み摂取、皮膚からの吸収、皮膚または眼の接触、不慮の飲み込み摂取を介して起こりうる。
急性経口毒性 : 毒性が低いと予想される。
 LD50 >5,000 mg/kg, ラット
急性経皮毒性 : 毒性が低いと予想される。
 LD50 >5,000 mg/kg, ラット
急性吸入毒性 : 低毒性: 殆ど飽和状態の蒸気濃度より大きい。
 LC50, 4 hours, ラット
 高濃度によって、頭痛、めまい感、悪心をもたらす中枢神経系抑制を引き起こすことがある。連続した吸入によって、意識消失および/または死にいたることがある。
皮膚腐食性/刺激性 : わずかに刺激性があります。
眼に対する重篤な損傷/眼刺激性 : 眼に殆ど刺激はない。
呼吸器系への刺激 : 蒸気またはミストの吸入により、呼吸器系に刺激を引き起こすことがある。
呼吸器感作性又は皮膚感作性 : 皮膚感作物質ではない。
呼吸器性呼吸器有害性 : 飲み込んだり嘔吐した時に肺への吸引により、致命的な化学物質起因の肺炎を引き起こすことがある。
反復投与毒性 : 腎臓: 雄ラットに生じた腎臓の作用は、ヒトには関連性がないと考えられる。
生殖細胞変異原性 : 変異原性があるとは考えられない。
発癌性 : 発癌作用の限定的証拠がある。評価を下すには不十分な情報。(Ethylbenzene)
生殖発生毒性 : 動物において母体毒性がある投与量で、胎児毒性が生じる。出生率の低下はないと思われる。

安全データシート

12. 環境影響情報

| | | |
|-----------|---|---|
| 評価基準 | : | 本製品に関する生態毒性データは、不完全である。下記の情報は、構成成分の部分的情報と類似製品の生態毒性に基いている。 |
| 急性毒性 魚 | : | 有害と予想される。 10 < LC/EC/IC50 <= 100 mg/l |
| 水生無脊椎動物 | : | 有害と予想される。 10 < LC/EC/IC50 <= 100 mg/l |
| 藻類 | : | 毒性があると考えられる。 1 < LC/EC/IC50 <= 10 mg/l |
| 微生物 | : | 有害と予想される。 10 < LC/EC/IC50 <= 100 mg/l |
| 移動度 | : | 水に浮かぶ。 |
| 残留性/分解性 | : | 空気中の光化学反応により迅速に酸化する。容易に生分解できると考えられる。 |
| 生態蓄積性 | : | 潜在的蓄積性を有する。 |

13. 廃棄上の注意

| | | |
|-------|---|---|
| 製品の処分 | : | 出来れば、再生利用または再使用すること。物質の毒性および物理的性状(注)を検判断し、適切な法規に則って正確な廃棄物の分類および廃棄処理方法を決定することは、廃棄物排出者の責務である。環境、下水管または水路へ廃棄しないこと。廃棄物により土壌や水質を汚染してはならない。 |
| 容器の廃棄 | : | 容器の水抜きを完全に行うこと。排水後、火気を避けて安全な場所で通風すること。製品または容器を取り扱う前に、第7節を参照すること。残留物は爆発の危険を生じることがある。汚れたドラム缶を穿刺、切削あるいは溶接しないこと。ドラム回収業者または金属再生業者へ送ること。 |
| 関連法規 | : | 廃棄処分は、地域、国、地方の適切な法律及び条例に従うべきである。現地の条例は、地域又は国の必要条件よりも厳しいこともあり、遵守しなければならない。 |

14. 輸送上の注意

| | | |
|----------|---|------------------------------|
| 国内規制 | | |
| 消防法 | : | |
| | : | 引火性液体 第4類第2石油類 非水溶性液体 |
| 国際規制 | | |
| IMDG | | |
| 識別番号 | : | UN 3295 |
| 適切な出荷製品名 | : | HYDROCARBONS, LIQUID, N.O.S. |
| クラス/部門 | : | 3 |

安全データシート

包装等級 : III
IATA(国による違いは適用されうる。)
国連番号 : 3295
適切な出荷製品名 : HYDROCARBONS, LIQUID, N.O.S.
クラス/部門 : 3
包装等級 : III

15. 適用法令

規制情報は、包括的なものではない。本物質に他の規制を適用することもある。

国内規制

消防法

引火性液体
 第4類第2石油類
 非水溶性液体

化審法

優先評価化学物質

| 化学名 | 番号 |
|-----------------|----|
| 1,2,4-トリメチルベンゼン | 49 |

労働安全衛生法

名称等を表示すべき危険物及び有害物
 法第57条(施行令第18条)
 表示対象物質
 名称等を通知すべき危険物及び有害物
 法第57条の2(施行令別表第9)
 通知対象物質
 製造の許可を受けるべき有害物
 法第56条(施行令別表第3第1号)
 非該当
 特定化学物質障害予防規則
 非該当
 有機溶剤中毒予防規則
 第3種有機溶剤
 労働安全衛生法施行令 - 別表第一(危険物)
 引火性の物(引火点65度未満)

毒物及び劇物取締法

非該当

化学物質排出把握管理促進法

第1種指定化学物質

| 化学名 | 番号 | 含有量(%) |
|-----------------|-----|--------|
| 1,2,4-トリメチルベンゼン | 296 | <= 1.8 |

安全データシート

船舶安全法

危規則第 2,3 条危険物告示別表第 1: 引火性液体類

高圧ガス保安法

非該当

航空法

施行規則第 194 条危険物告示別表第 1: 引火性液体

海洋汚染等及び海上災害の防止に関する法律

ばら積み輸送 : (油)

16. その他の情報

SDS 版番号 : 1.0

SDS 発効日 : 2018.10.01

用途及び制約事項 : 工業用溶剤

SDS 配布 : 本文書に記載の情報は、製品を取り扱う全ての者が縦覧できるようにすること。

否認事項 : この情報は我々の現在の知識に基づき、かつ健康・安全・環境要件における製品のみについて説明することを目的とする。従って、製品のいかなる特性も保証すると解釈してはならない。